



# 清 滝 っ 子

豊岡市立清滝小学校  
学校だより 第4号  
令和5年5月15日 発行

ゴールデンウィークも終わり、日増しに木々の緑が深まってきました。連休中の5月6日(土)は、「立夏」(りっか)といって、春が終わり夏の始まりを表す日でした。「夏」とはいつても、本格的な暑さは、もう少し先のことで、ここ数日は、天気も安定しさわやかで過ごしやすい時季になっています。

新学期が始まってから1か月余りがたちましたが、1年生も通学に慣れた様子で、しっかりした足取りで登校してきます。新緑に包まれた学校に、毎朝、元気なあいさつの声が響いています。



## 「1年生を迎える会」より

4月28日(金)に、「1年生を迎える会」が開かれました。

6年生といっしょに体育館に入場した1年生は、入学式とはまた違った雰囲気、にこやかな表情でした。自己紹介では、1年生一人一人が、6年生のインタビューに、自分の名前や生年月日、好きな食べ物などを元気に答えていました。5年生から、手作りのメダルをプレゼントしてもらった後、今年度初めての縦割り班の活動をしました。

校内に設けられたチェックポイントをまわりながら問題を解くスタンプラリーでは、校長室もチェックポイントになり、縦割り班ごとに、入れ替わり立ち替わりやってきては、班のみんなで出題された問題に頭をひねっていました。



## 2年生のこいのぼりが泳ぎました

5月5日(金)は、「こどもの日」でした。各地で「こどもの日」にちなんだ、いろいろなイベントが開催されましたが、豊岡市では、豊岡市の中央公園で、市内の小学校2年生約600人が作ったミニこいのぼりが泳ぎました。これは、豊岡青年会議所が企画したもので、清滝小学校の2年生9人のこいのぼりも、元気に青空を泳いだことでしょう。新聞記事に写真も掲載されましたが、なかなか壮観な眺めだったようです。



2年生制作のこいのぼり

## 「おはなし会」が始まりました



5月8日（月）より、読み聞かせボランティア「ま～ぶるスマイルズ」の皆さんによる「おはなし会」がスタートしました。月に1～2回の「おはなし会」を、子どもたちも楽しみにしています。



また、図書ボランティアにお世話になり、図書室に、季節感のあふれる掲示をしていただきました。図書室は、たくさんの本に触れたり、本と出会ったりできる場所です。図書室をどんどん利用してください。



大人も子どもも、「読書離れ」が言われて久しいですが、読書を通して得られる、学ぶ楽しさや知る喜び、豊かな感性などは、子どもたちの成長の糧となるものです。各学年で、家庭読書の声かけも行っています。身近なところに本があったり、家族が読書をしている姿を見たりすることが、子どもの本に対する興味・関心につながっていくと思います。

竹のように 竹中 郁

のびろ のびろ  
まっすぐ のびろ  
こどもたちよ  
竹のように のびろ

風をうけて さらさらと鳴れよ  
日をうけて きらきらと光れよ

雨をうけたら じっとしてろ  
雪がつもれば いっそうこらえろ  
石をなげつけられたら  
かちんとひびけ

ぐんぐん 根をはれ  
土の中で その手とその手を  
がんじがらめににぎりあえ

竹 竹 竹のように  
竹 竹 竹のように

五月のみどりよ もえあがれ  
のびろ

春に地面から出てきたタケノコも、今の時期には若竹へと成長しています。

タケは、数ある植物のなかでも、成長が早いことでよく知られています。タケには節ごとに、細胞が分裂して成長する「成長点」と呼ばれる部分があります。一般の樹木だと成長点は根や茎の先端にしかありません。ところがタケはすべての節に成長点があるため、1日で1m以上成長することもあるそうです。

タケから生まれたかぐや姫は、生まれたときにはわずか10cm足らずだったのが、3か月ほどで一人前の大人になったそうです。これも、タケの成長の早さと関係があるかもしれません。「清滝っ子」のみなさんも、小学生から中学生にかけて、大きく成長する時期です。タケのように真っすぐに、そしてしなやかに伸びて行ってほしいと願っています。